

かわもとかほ

かわら版

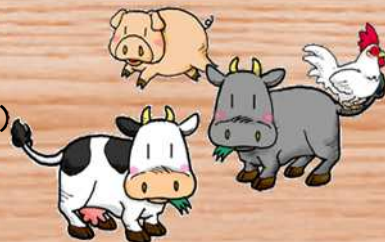
家畜衛生広報 (R7 Vol. 2)

令和7年9月発行

川本家畜保健衛生所（西部農林水産振興センター 川本家畜衛生部）

〒696-8510 邑智郡川本町大字川本 265-3

TEL (0855) 72-9805 FAX (0855) 72-9811



全共情報（全共出品素牛がぞくぞく生まれています）

令和9年8月に全国和牛能力共進会（以下、全共）が、北海道で開催されます。令和7年度は、肉牛の部・種牛の部・高校及び農業大学校の部（特別区）といった出品素牛の多くが出生する年に当たります。島根県は、前回鹿児島全共で、肉牛の部のうち花形と呼ばれる6区で肉質評価1位の素晴らしい成績を収めました。



しまね和牛のブランド強化や担い手育成の気運が高まる中、川本家保管内では、一般農家の方に加え、農林大学校・矢上高校も生産者として積極的な手挙げをし、受精卵移植を活用した素牛生産の取組に生徒主体で参加しております。肉牛の部の素牛の出生を目前に控えた7月17日には、矢上高校にて邑智農業部と川本家保を講師とし、子牛のワクチネーションや強化哺育方法についての講習会を行いました。今後、出席した2年生は全共素牛の管理に中心的に取り組みます。この中から、全共の取組をきっかけに、畜産の世界にチャレンジする生徒がより多く出ることを願っております。（小川）



5条検査の実施について（邑南町牛飼養農家の方へ）

家畜伝染病予防法第5条に基づく牛のヨーネ病検査について、**今年度の対象地区は邑南町**になります。10月以降のところで随時実施して行きます。また、5条検査の採血に併せて飼養衛生管理基準の遵守状況の確認も行わせていただきたいと思いますので、皆様ご協力よろしくお願いします。

ヨーネ病や飼養衛生管理基準について何か分からないことがあれば、お気軽にご相談ください（松尾）。



ランピースキン病と吸血昆虫対策について

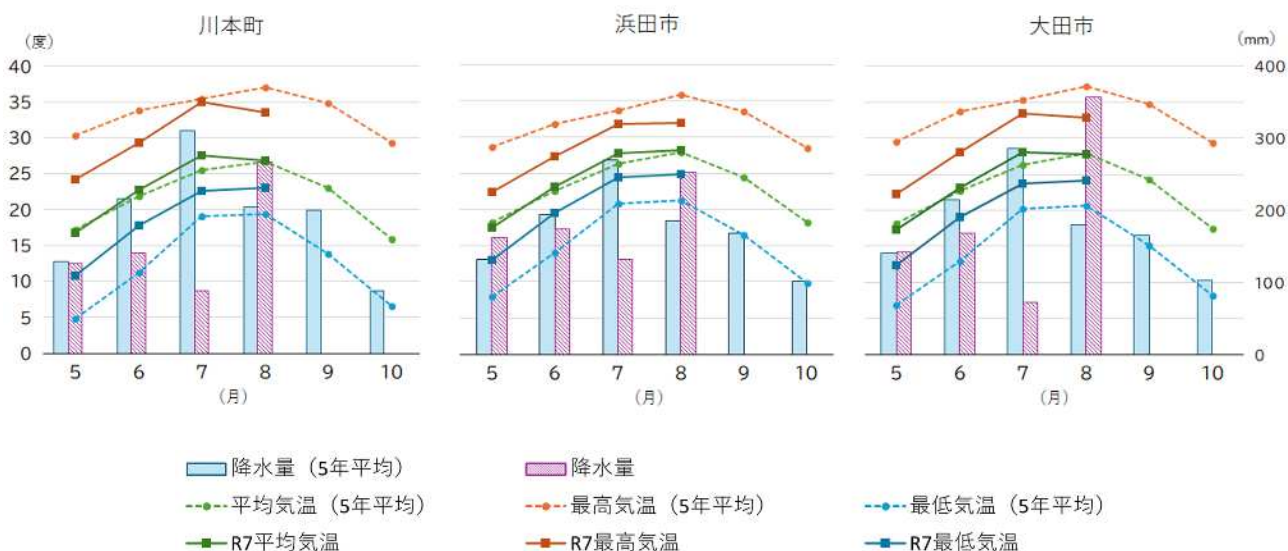
本病については令和6年12月26日が国内最終発生となっていますが、海外に目を移すと8月に入ってから欧州（フランス・イタリア）での発生が確認されており、依然として注意が必要な状況です。また、令和7年7月には本病が家畜伝染病予防法第62条第1項の疾病の種類として指定され、法的強制力をもって本病のまん延防止措置を行うことが可能となりました（今までは、自主淘汰や出荷自粛などの要請にとどまっていた）。

牛飼養農家の方におかれましては、サシバエ等の吸血昆虫の活動が活発なこの時期、本病のまん延防止対策に限らず、家畜にかかるストレスを軽減し、生産性に悪影響を及ぼさないためにも添付のリーフレットを参照の上、吸血昆虫対策に取り組んでいただきますようお願いいたします（松尾）。



できることから！暑熱対策

年々、夏の暑さが厳しく、長くなってきています。そこで、管内（浜田市、大田市、川本町）の気象データを、過去5年間の平均値と今年度で比較してみました。データ提供元：気象庁



グラフを見ると、今年度は

- ①降水量が少ない（しかし、8月は数日間で災害級の大雨）
- ②最低気温が過去5年と比較して高い（1日中気温が高い状態が続いている）

という特徴が見られました。気象庁によると、今後も暑さが続くことが見込まれるようです。気象状況に注意しながら、暑さ対策、水対策を行ってください。

また、作業の際は、人もまだまだ熱中症に気を付けながら、事故なく元気に残夏を乗り越えましょう！（菊地）

